

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 メルクス株式会社

コード番号 7934 URL <http://www.melx.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 榎田 了

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 内海 潔

TEL 0265-22-2910

四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第3四半期 | 2,430 | △53.7 | △411 | — | △467 | — | △364 | — |
| 21年3月期第3四半期 | 5,252 | △2.4 | △434 | — | △499 | — | △499 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | △18.50 | — |
| 21年3月期第3四半期 | △25.38 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | 4,612 | 1,329 | 28.8 | 67.58 |
| 21年3月期 | 6,069 | 1,736 | 28.6 | 88.26 |

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,329百万円 21年3月期 1,736百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 22年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 22年3月期 (予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,950 | △34.8 | △310 | — | △390 | — | △290 | — | △14.74 |

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 19,785,903株 | 21年3月期 | 19,785,903株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 112,261株 | 21年3月期 | 106,149株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 19,677,051株 | 21年3月期第3四半期 | 19,692,272株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前連結会計年度後半からの急激な景気の悪化に最悪期を脱し回復の兆しが見られるものの、企業収益や雇用・所得環境は厳しい状況にあり、依然としてデフレ傾向を伴う景気の低迷が続く、厳しい事業環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループでは、厳しい外部環境に対応するため、平成21年3月新たに策定した新中期経営計画に基づき「事業の再構築」「調達先・外注先の再構築と海外拠点・提携先の一層の活用」「バランスシートのスリム化」を戦略基軸とした各施策の着実な遂行に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間において、中国子会社佛山市メルクス皮革有限公司の収益状況は年度の後半に向けて収益基調が鮮明になる一方で、当社においては新中期経営計画に基づく具体的な諸施策の遂行により、その効果が着実に現れてまいりましたが、デフレ傾向を伴う景気の低迷といった市況の影響を大きく受け、その効果は減殺されるに至りました。第3四半期会計期間においては、採算面への影響は限定的ではあるものの、仕入商品の売上高が市況の影響から大きく減少いたしました。さらには、新中期経営計画の具体的施策のひとつである「販売先の選択と集中」の遂行により、販売先の絞り込みが着実に進捗したのに対して、既存の販売先に対する売上高増加は、デフレ環境にある市況の悪化からその進捗が遅れ、販売先の絞り込みが先行するという厳しい状況で推移いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,430百万円（前年同期比53.7%減）、営業損失は411百万円（前年同期は434百万円の営業損失）、経常損失は467百万円（前年同期は499百万円の経常損失）となりました。

特別損益については、中期経営計画に予定したバランスシートスリム化のための投資有価証券売却を行ったため、売却損益として差し引きで175百万円の特別利益の計上、平成21年12月31日付希望退職者に対する退職金支払いに係る費用として47百万円の特別損失を計上いたしました。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の四半期純損失は364百万円（前年同期は499百万円の四半期純損失）となりました。

これを所在地別セグメントの業績で示すと、日本は、売上高が1,975百万円（前年同期比46.5%減）、営業損失が444百万円（前年同期は336百万円の営業損失）となり、中国は、売上高が454百万円（前年同期比70.9%減）、営業利益が35百万円（前年同期は93百万円の営業損失）となりました。

一方で、第3四半期連結会計期間における経営成績は、売上高が932百万円（前年同期比46.8%減）、営業損失が77百万円（前年同期は49百万円の営業損失）、経常損失が124百万円（前年同期は88百万円の経常損失）、となり、四半期純損失は161百万円（前年同期は89百万円の四半期純損失）となりました。

これを所在地別セグメントの業績で示すと、日本は、売上高が612百万円（前年同期比46.7%減）、営業損失が118百万円（前年同期は93百万円の営業損失）となり、中国は、売上高が320百万円（前年同期比46.9%減）、営業利益が37百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第3四半期末における総資産は、中期経営計画に予定したバランスシートスリム化のため、定期預金の払戻しや投資有価証券の売却によって借入金返済を行ったこと等により、前連結会計年度末に比べ1,457百万円減少し4,612百万円となりました。負債は、有利子負債が1,106百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,050百万円減少し3,282百万円となりました。純資産は四半期純損失364百万円の計上、その他有価証券評価差額金の減少40百万円等により、前連結会計年度末に比べ407百万円減少し1,329百万円となり、自己資本比率は28.8%となりました。

(2) キャッシュ・フロー

当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ152百万円減少し310百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の減少による収入が221百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が360百万円の損失であったこと等により、129百万円の支出(前年同期は230百万円の支出)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、中期経営計画に予定したバランスシートスリム化に伴い、定期預金の払戻しによる収入420百万円、投資有価証券の売却による収入639百万円があったこと等により、1,086百万円の収入(前年同期は94百万円の収入)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、投資活動で得られた資金によって、短期借入金・長期借入金・社債等の有利子負債の返済を行ったこと等により、1,109百万円の支出(前年同期は539百万円の支出)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に対して、当第3四半期連結累計期間までの収益実績が低調に推移しておりますが、中国子会社佛山市メルクス皮革有限公司の業績が本格的に回復し堅調な収益状況にあり、通期での黒字化が寄与することや、当社においては第3四半期末日付の希望退職の実施による固定費の削減効果が第4四半期以降に見込まれることから、現時点において、平成21年10月29日公表の通期業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算定に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において 587,570 千円の営業損失を計上し、2期連続で営業損失を計上しております。また、当第3四半期連結累計期間においては 411,841 千円の営業損失を計上しております。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、平成 19 年 11 月に策定した中期経営計画の各施策を遂行するとともに、国際展開の効果と技術開発の現実化など、複合的な要素を組み合わせた戦略の遂行を進めてまいりました。当該計画におけるコスト効率化諸施策については、一定の効果があったものの、前連結会計年度前半の原材料価格の高騰と、前連結会計年度後半の世界的な景気の後退により、その効果は減殺を余儀なくされました。このような状況から、外部環境の激変を考慮して、当該計画の戦略及び諸施策を中核としつつも、慎重を期するため追加的な対応が必要と判断し、平成 21 年 3 月に、更に踏み込んだ施策を盛り込んだ新たな中期経営計画を策定し、その着実な実行に注力しております。

この新中期経営計画では、外部環境の厳しさを考慮し、販売量を保守的に見積ることによって、企業基盤の強化、及び財務体質の改善を図ることをベースとして、個別散在顧客の選択と集中、原皮調達方法の多様化、薬品購買の見直し等を重点施策としております。また、平成 21 年 12 月末日付で希望退職の実施を終えており、引き続き一層の固定費削減にも取り組むことによって、収益の改善を図り企業価値の回復・向上を目指してまいります。

しかし、これらの対応策は進捗の途上であるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 315,002 | 887,392 |
| 受取手形及び売掛金 | 907,292 | 862,275 |
| 商品及び製品 | 983,006 | 956,917 |
| 仕掛品 | 417,555 | 666,421 |
| 原材料及び貯蔵品 | 189,960 | 193,871 |
| その他 | 154,849 | 159,512 |
| 貸倒引当金 | △1,643 | △1,754 |
| 流動資産合計 | 2,966,023 | 3,724,638 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 754,764 | 796,103 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 210,602 | 333,139 |
| 土地 | 434,773 | 434,773 |
| リース資産(純額) | 5,288 | 7,184 |
| その他(純額) | 28,822 | 31,261 |
| 有形固定資産合計 | 1,434,252 | 1,602,461 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 24,631 | 26,433 |
| 投資有価証券 | 72,791 | 634,361 |
| その他 | 220,367 | 187,555 |
| 貸倒引当金 | △105,740 | △105,740 |
| 投資その他の資産合計 | 187,418 | 716,176 |
| 固定資産合計 | 1,646,301 | 2,345,071 |
| 資産合計 | 4,612,325 | 6,069,709 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 347,878 | 309,634 |
| 短期借入金 | 1,580,216 | 2,000,189 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 82,860 | 556,242 |
| 1年内償還予定の社債 | — | 130,000 |
| リース債務 | 4,784 | 4,784 |
| 未払法人税等 | 5,494 | 5,482 |
| 賞与引当金 | 2,050 | 3,259 |
| その他 | 161,973 | 67,994 |
| 流動負債合計 | 2,185,257 | 3,077,586 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | — | 280,000 |
| 長期借入金 | 883,902 | 686,989 |
| リース債務 | 8,817 | 12,405 |
| 繰延税金負債 | 1,846 | 29,779 |
| 退職給付引当金 | 202,867 | 246,089 |
| 固定負債合計 | 1,097,434 | 1,255,263 |
| 負債合計 | 3,282,691 | 4,332,850 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,892,023 | 2,892,023 |
| 資本剰余金 | 199,024 | 199,024 |
| 利益剰余金 | △1,728,017 | △1,363,921 |
| 自己株式 | △8,918 | △8,619 |
| 株主資本合計 | 1,354,111 | 1,718,507 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,690 | 43,388 |
| 為替換算調整勘定 | △27,168 | △25,036 |
| 評価・換算差額等合計 | △24,477 | 18,352 |
| 純資産合計 | 1,329,633 | 1,736,859 |
| 負債純資産合計 | 4,612,325 | 6,069,709 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 5,252,354 | 2,430,337 |
| 売上原価 | 5,273,176 | 2,517,920 |
| 売上総損失(△) | △20,822 | △87,583 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運賃及び荷造費 | 26,717 | 13,974 |
| 広告宣伝費 | 17,712 | 9,052 |
| 貸倒引当金繰入額 | 3,503 | 2,042 |
| 役員報酬 | 23,966 | 21,572 |
| 給料及び手当 | 111,205 | 98,147 |
| 法定福利費 | 18,497 | 20,152 |
| 賞与引当金繰入額 | 821 | 446 |
| 退職給付費用 | 17,565 | 3,592 |
| 減価償却費 | 3,832 | 5,021 |
| 研究開発費 | 2,442 | 1,445 |
| その他 | 187,817 | 148,809 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 414,081 | 324,258 |
| 営業損失(△) | △434,904 | △411,841 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,556 | 1,648 |
| 受取配当金 | 13,718 | 3,706 |
| 固定資産賃貸料 | 11,154 | 10,720 |
| 雇用調整助成金 | — | 18,278 |
| その他 | 4,019 | 4,405 |
| 営業外収益合計 | 32,449 | 38,760 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 68,600 | 50,810 |
| 持分法による投資損失 | 6,704 | 15,069 |
| その他 | 22,081 | 28,815 |
| 営業外費用合計 | 97,386 | 94,696 |
| 経常損失(△) | △499,840 | △467,777 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 495 | — |
| 投資有価証券売却益 | — | 193,971 |
| 補助金収入 | 14,000 | — |
| 特別利益合計 | 14,495 | 193,971 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 973 |
| 固定資産除却損 | 1,650 | 572 |
| 投資有価証券売却損 | — | 18,769 |
| 投資有価証券評価損 | 8,917 | 18,908 |
| 特別退職金 | — | 47,497 |
| 会員権評価損 | 46 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | 186 | — |
| 特別損失合計 | 10,800 | 86,722 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △496,145 | △360,528 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,567 | 3,567 |
| 四半期純損失(△) | △499,713 | △364,096 |

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 1,752,997 | 932,680 |
| 売上原価 | 1,672,981 | 908,532 |
| 売上総利益 | 80,015 | 24,147 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運賃及び荷造費 | 7,467 | 5,089 |
| 広告宣伝費 | 3,681 | 2,020 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 903 |
| 役員報酬 | 7,413 | 6,746 |
| 給料及び手当 | 38,137 | 31,880 |
| 法定福利費 | 5,936 | 6,522 |
| 賞与引当金繰入額 | — | 446 |
| 退職給付費用 | 10,210 | 2,152 |
| 減価償却費 | 1,279 | 1,535 |
| 研究開発費 | 400 | 434 |
| その他 | 55,226 | 44,398 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 129,753 | 102,129 |
| 営業損失(△) | △49,737 | △77,981 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 812 | 466 |
| 受取配当金 | 3,693 | 399 |
| 固定資産賃貸料 | 3,732 | 3,573 |
| 雇用調整助成金 | — | 2,751 |
| その他 | 1,953 | 2,480 |
| 営業外収益合計 | 10,191 | 9,671 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 23,240 | 14,644 |
| 為替差損 | 17,796 | 35,212 |
| 持分法による投資損失 | 1,629 | 2,127 |
| その他 | 6,312 | 4,684 |
| 営業外費用合計 | 48,979 | 56,669 |
| 経常損失(△) | △88,525 | △124,978 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 12,447 |
| 特別利益合計 | — | 12,447 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 30 | 19 |
| 特別退職金 | — | 47,497 |
| 貸倒引当金繰入額 | 186 | — |
| 特別損失合計 | 216 | 47,517 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △88,742 | △160,048 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,189 | 1,189 |
| 四半期純損失(△) | △89,931 | △161,238 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △496,145 | △360,528 |
| 減価償却費 | 113,367 | 99,010 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 3,229 | △111 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △26,702 | △1,208 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 33,456 | 1,019 |
| 受取利息及び受取配当金 | △17,275 | △5,354 |
| 支払利息 | 68,600 | 50,810 |
| 為替差損益(△は益) | 11,049 | △386 |
| 持分法による投資損益(△は益) | 6,704 | 15,069 |
| 固定資産除売却損益(△は益) | 1,155 | 1,546 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | — | △175,202 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 8,917 | 18,908 |
| 会員権評価損 | 46 | — |
| 特別退職金 | — | 47,497 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △146,338 | △46,654 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 279,918 | 221,266 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △53,166 | 19,618 |
| その他 | 34,628 | 35,374 |
| 小計 | △178,554 | △79,323 |
| 利息及び配当金の受取額 | 17,275 | 5,354 |
| 利息の支払額 | △63,994 | △50,426 |
| 法人税等の支払額 | △4,730 | △4,757 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △230,003 | △129,152 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △689,030 | △122,332 |
| 定期預金の払戻による収入 | 846,150 | 542,529 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,500 | — |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 639,366 |
| 固定資産の取得による支出 | △65,140 | △3,866 |
| 固定資産の売却による収入 | 857 | 8,167 |
| 貸付金の回収による収入 | 5,000 | — |
| その他 | △1,776 | 22,202 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 94,559 | 1,086,066 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 85,381 | △418,829 |
| 長期借入れによる収入 | 180,000 | 226,056 |
| 長期借入金の返済による支出 | △610,225 | △502,524 |
| 社債の償還による支出 | △194,000 | △410,000 |
| リース債務の返済による支出 | — | △3,588 |
| 自己株式の取得による支出 | △560 | △299 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △539,404 | △1,109,185 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △5,578 | 78 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △680,426 | △152,192 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,106,280 | 462,195 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 425,853 | 310,002 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、前連結会計年度において 587,570 千円の営業損失を計上し、2 期連続で営業損失を計上しております。また、当第 3 四半期連結累計期間においては 411,841 千円の営業損失を計上しております。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、平成 19 年 11 月に策定した中期経営計画の各施策を遂行するとともに、国際展開の効果と技術開発の現実化など、複合的な要素を組み合わせた戦略の遂行を進めてまいりました。当該計画におけるコスト効率化諸施策については、一定の効果があったものの、前連結会計年度前半の原材料価格の高騰と、前連結会計年度後半の世界的な景気の後退により、その効果は減殺を余儀なくされました。このような状況から、外部環境の激変を考慮して、当該計画の戦略及び諸施策を中核としつつも、慎重を期するため追加的な対応が必要と判断し、平成 21 年 3 月に、更に踏み込んだ施策を盛り込んだ新たな中期経営計画を策定し、その着実な実行に注力しております。この新中期経営計画では、外部環境の厳しさを考慮し、販売量を保守的に見積ることによって、企業基盤の強化、及び財務体質の改善を図ることをベースとして、個別散在顧客の選択と集中、原皮調達方法の多様化、薬品購買の見直し等を重点施策としております。また、平成 21 年 12 月末日付で希望退職の実施を終えており、引き続き一層の固定費削減にも取り組むことによって、収益の改善を図り企業価値の回復・向上を目指してまいります。

しかし、これらの対応策は進捗の途上であるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第 3 四半期連結会計期間（自 平成 20 年 10 月 1 日 至 平成 20 年 12 月 31 日）及び当第 3 四半期連結会計期間（自 平成 21 年 10 月 1 日 至 平成 21 年 12 月 31 日）並びに前第 3 四半期連結累計期間（自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 12 月 31 日）及び当第 3 四半期連結累計期間（自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 12 月 31 日）

当社及び連結子会社の事業は、皮革関係並びにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

② 所在地別セグメント情報

前第 3 四半期連結会計期間（自 平成 20 年 10 月 1 日 至 平成 20 年 12 月 31 日）

| | 日 本 (千円) | 中 国 (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連 結 (千円) |
|----------------------|-------------|-------------|-----------|----------------|-------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 1,149,024 | 603,972 | 1,752,997 | — | 1,752,997 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | 21,245 | 141,033 | 162,278 | △162,278 | — |
| 計 | 1,170,269 | 745,006 | 1,915,275 | △162,278 | 1,752,997 |
| 営業利益又は営業損失 (△) | △93,866 | 34,326 | △59,539 | 9,801 | △49,737 |

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

| | 日本 (千円) | 中国 (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|----------------------|------------|------------|-----------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 612,173 | 320,507 | 932,680 | — | 932,680 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | 11,845 | 11,182 | 23,028 | △23,028 | — |
| 計 | 624,018 | 331,690 | 955,708 | △23,028 | 932,680 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △118,223 | 37,416 | △80,807 | 2,826 | △77,981 |

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

| | 日本 (千円) | 中国 (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|----------------------|------------|------------|-----------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 3,691,635 | 1,560,718 | 5,252,354 | — | 5,252,354 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | 90,095 | 341,015 | 431,110 | △431,110 | — |
| 計 | 3,781,730 | 1,901,733 | 5,683,464 | △431,110 | 5,252,354 |
| 営業損失(△) | △336,326 | △93,256 | △429,583 | △5,320 | △434,904 |

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

| | 日本 (千円) | 中国 (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|----------------------|------------|------------|-----------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 1,975,784 | 454,552 | 2,430,337 | — | 2,430,337 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | 34,821 | 54,805 | 89,626 | △89,626 | — |
| 計 | 2,010,606 | 509,357 | 2,519,963 | △89,626 | 2,430,337 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △444,890 | 35,808 | △409,082 | △2,758 | △411,841 |

③ 海外売上高

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

| | 中国 | その他の地域 | 計 |
|------------------------------|---------|--------|-----------|
| I 海外売上高(千円) | 603,972 | — | 603,972 |
| II 連結売上高(千円) | — | — | 1,752,997 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%) | 34.5 | — | 34.5 |

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

| | 中国 | その他の地域 | 計 |
|------------------------------|---------|--------|---------|
| I 海外売上高(千円) | 320,507 | 469 | 320,976 |
| II 連結売上高(千円) | — | — | 932,680 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%) | 34.4 | 0.0 | 34.4 |

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

| | 中 国 | その他の地域 | 計 |
|------------------------------|-----------|--------|-----------|
| I 海外売上高（千円） | 1,560,718 | — | 1,560,718 |
| II 連結売上高（千円） | — | — | 5,252,354 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%） | 29.7 | — | 29.7 |

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

| | 中 国 | その他の地域 | 計 |
|------------------------------|---------|--------|-----------|
| I 海外売上高（千円） | 454,552 | 469 | 455,021 |
| II 連結売上高（千円） | — | — | 2,430,337 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%） | 18.7 | 0.0 | 18.7 |

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。